

代表質問と答弁

～各議員のコードから動画が視聴できます～

2月17日



区長最後の1年 未来に続く区政運営を

自由民主党目黒区議団・区民の会 西村 ちほ 議員



持続可能な行財政運営

問 一般会計の予算案規模は1,620億円超に達し、歳出と各種事業は年々膨れ上がっている。事業の固定化や経費の肥大化の抑制にどう取り組むか。

区長 本年度予算から「期間設定方式」を導入し、事業の見直し時期や終了時期をあらかじめ設定する。これまで以上に成果を意識した効率的な事業運営を行うとともに、事業の固定化や経費の肥大化を抑制し、「未来を見据えた持続可能な行財政運営」を実現していく。

安定した学習環境の確保

問 区は学校施設の建て替え更新を計画的に進めているが、工事費の高騰や入札不調によるスケジュール遅延が深

刻な課題となっている。子どもの安定した学習環境を確保するための方策を問う。

教育長 区長部局と連携し、新校舎の設計や仮校舎の計画を工夫するとともに、建築単価の見直しなどの対策を講じる。

区長ラストイヤーの区政運営

問 区長は任期3年で辞職し、再出馬はしないと明言している。令和8年度は6期務めてきた最後の1年になるが、積み残した課題をどう整理し、次の代に引き継ぐつもりか問う。

区長 課題を先送りすることなく、公約を実現しながら、区が掲げる将来像の実現に向け、最後まで全力で区政運営に当たる。



区長の決意を問う！ 区立中学校在籍率向上の取り組みを

めぐろの未来をつくる会 (無所属・国民・維新) 吉野 正人 議員



区政運営の基本姿勢と重要課題

問 区長ラストイヤーの決意を問う。

区長 公約の実現、行財政運営方針・実施計画を着実に進め、公共施設整備の考え方を整理する。

めぐろ学校教育プラン

問 りめぐろ学校教育プランはどこに重点を置いて改定していくのか問う。

教育長 学習指導要領改訂への対応、多様な子どもたちの深い学びを確かなものにしていくことに重点を置く。

学校運営協議会の設置校拡大

問 先行実施校3校の現状と検証について問う。

教育長 意見交換や地域連携が進み、取り組みは概ね順調である。成果と課題を整理しながら、設置校の段階的な

拡大を進め、効果的な運営を目指す。

問 地域の連携がうまくできていない学校への対応を問う。

教育長 学校運営協議会の設置を契機に保護者・地域との連携を進める。

公教育としての区立中学校

問 在籍率低下への見解と今後の区立中学校に必要な施策、地域を生かした学校づくりの方向性を問う。

教育長 私立志向の高まりなどが要因と考えられる。授業改善をはじめ、英語力育成、部活動環境の構築などにより、区立中学校の強みと魅力の向上に取り組む。また、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりを進め、地域との連携による特色ある学校づくりを推進していく。

用語解説

- *1 次世代太陽電池 軽量で曲げられるなどの特徴を持つ新しい太陽電池。建物の窓や壁にも設置しやすいタイプが開発されている。
- *2 4ない窓口 目黒区では「行かない、書かない、待たない、迷わない」窓口を目指している。時間や場所に関係なく、いつでもどこでも区の手続きや相談ができること、窓口での手続きが1カ所で短時間に完了できることを達成するための取り組みとして進めている。
- *3 サップ(SUP) Stand Up Paddleboardの略。大きなボードの上に乗ってパドルを使い、水面を進むアクティビティ。

2月18日



区民の安全・安心に 未来を見据えた財政運営を！

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員



令和8年度区政運営

問 区有施設更新に財源不足が想定される。ニーズの変化や、トータルコストを示し、区民への丁寧な説明を求め。

区長 公共施設等マネジメント推進に向けた基本的な考え方を公表し、区民参画の機会を設けた。これらの意見を踏まえるとともに、説明会などで丁寧な説明に努め、合意形成を図る。

問 都の財政支援を活用した私立学校児童・生徒給食費補助制度の創設を問う。

区長 限られた財源の中では、まず区立小・中学校への助成が優先である。今後の調査研究課題とする。

災害支援対策

問 昨年2度の豪雨災害で災害ボランティア派遣が行われなかった理由を問う。

区長 派遣要望がなかったためであるが、対策を講じる必要がある。

問 災害発生に備え、地域避難所へ次世代太陽電池(*1)の設置の考えはあるか。

区長 大規模な設備は困難だが、学校施設改築時に導入を予定している。施設整備と運用の両面で備えを強化する。

平和の礎をつくる

問 区長の所信表明に、平和と人権・多様性の尊重とある。世界では紛争が続き、日本は唯一の被爆国としての使命がある。平和への思いが風化する中、区としての具体的な行動を問う。

区長 広島派遣事業、平和映画の上映、灯籠作り、原爆被害等を疑似体験できるVRゴーグル体験会など、平和記念事業を充実・拡大させている。



輝く人財！これからの目黒区 共に生きる目黒へ！

立憲民主・目黒フォーラム 金井 ひろし 議員



働きやすい職場と、窓口混雑解消へ

問 マイナンバーカードの窓口は待ち時間が長く、区民の負担となっている。混雑緩和に向けた取り組みを問う。

区長 来年度は4ない窓口(*2)の取り組みをDXの重要テーマの1つに掲げ、全庁を挙げて取り組みを加速していく。

問 名刺は職員が自費で作成している。一般企業では会社負担が通常だが、区としての考えを問う。

区長 財政負担、作成ルール、デザイン統一によるPR効果も考慮しつつ職務上使用する名刺の在り方を検討する。

子どもたちの多様な学びの取り組みを

問 インクルーシブ教育について新教育長の認識を問う。

教育長 子どもの最善の利益を目指し

て、一人一人の教育的ニーズに対応できるシステム構築のため、取り組みを進めていく。

問 体験学習について興津自然学園で「地引網」を取り入れてはどうか。

教育長 自然宿泊体験教室では磯観察やサップ(*3)体験など、体験先の特色を生かした活動を実施している。今後のプログラム開発の参考とする。

障害があってもなくても、医療的ケアが必要でも、「共に生きる」目黒へ。

高校卒業後の居場所の拡充を

問 本区から始まった、日中一時支援の拡充について区の見解を問う。

区長 都が新たに検討している補助事業を見据え、利用時間外活動支援事業のさらなる拡充を図っていく。



平和と暮らしを守る区政を

日本共産党目黒区議団 松嶋 祐一郎 議員



軍事費拡大と区の姿勢

問 軍事費が急拡大している。税や社会保障を通じ区民生活に影響する問題だ。平和都市宣言区として国に是正を求めるべきと考えるが見解を問う。

区長 防衛費への見解は差し控えるが、平和を施策の根底に据え、平和記念事業や物価高騰対策などを通じて、区民の暮らしと平和を守っていく。

補聴器助成の対象を広げよ

問 補聴器助成の対象拡大や助成増額を検討すべきではないか。

区長 補聴器の価格上昇を踏まえ、助成増額を予定している。対象要件の拡大はさらなる財政負担につながるため、新たな対象者を検討する状況にはない。

生活保護と命の保障

問 最高裁が保護費の国の基準引き下げを違法とした。判決をどう受け止めるのか。猛暑下の光熱費負担軽減を検討すべきではないか。

区長 国が決めた追加給付の支給を速やかに行うものと認識している。光熱費の夏季加算の創設を国に要望している。

問 DV対策と児童虐待の防止対策の連携強化について問う。

区長 DVと児童虐待を一体的に捉え、既存の連携体制を生かし、関係者が分野横断的に連携して対応していく。

問 同性カップルなどが家族として尊重されるよう、パートナーシップ制度を。

区長 平和と人権・多様性の尊重を施策の根底に置き、制度導入を含めた性の多様性の尊重を着実に進めていく。